



民生委員・児童委員との

かけはし

桑名市民児協広報誌 第21号

令和5年12月1日 発行



Contents

ごあいさつ	P2
各地区の活動・行事を紹介します	P3
各部会の活動を紹介します	P9
救急医療情報キット作成・更新していますか?	P10
桑名市消防本部からのお知らせ	P11
桑名警察署からのお知らせ	P12

桑名市民生委員児童委員協議会連合会

いあぐわい

桑名市民生委員児童委員協議会連合会

会長

伊藤 清文



日頃は民生委員・児童委員活動にご理解とご協力をいただき御礼申し上げます。

民生委員制度として多くの先輩方により継承されてきましたが、近年社会の状況は大きく変容し、変化は目まぐるしいものとなり、民生委員・児童委員もなり手不足や認知度低下等の課題に直面しています。

これから先もこの制度が継続されますように、民生委員・児童委員について少し紹介させていただきます。

民生委員は厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、児童委員も兼ねています。また、子どもに関する支援や相談は主任児童委員が担当し、関係機関や児童委員と連携します。任期は3年で再任は可能です。

交通費など一定の活動費は支給されていますが、給与の支給はなく、地域の福祉を担うボランティアとして活動しています。

社会福祉の精神、基本的人権の尊重、政治的中立の3つのことを基本姿勢としています。

高齢者や障害のある方の安否確認や見守り、子ども達への声掛け等、医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的な生活上の心配ごとなど、相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう、行政、地域の専門機関とのつなぎ役となり活動しています。

民生委員・児童委員には法に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。皆様方の身近な相談相手として寄り添い繋がっていきたく思います。今後とも私たちの活動にお力添えいただけますようよろしくお願い申し上げます。

桑名市長

伊藤 徳宇



民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃から地域の身近な相談役としてご活躍いただいていることに心から御礼申し上げます。

さて、わが国では、少子高齢化や人口減少、核家族化、未婚化などに伴う世帯の小規模化、一人ひとりの価値観や生活様式の多様化など、社会環境の変化により人と人とのつながりが希薄化しています。このような中、高齢者世帯の増加に加え、ひきこもりや子育て家庭の孤立、虐待、経済的に困窮している世帯など、新たな課題が本市でも表面化してきています。

市では、このような福祉ニーズの変化や課題に対応するため、地域で支え合う地域共生社会の実現に向けた取組を進めているほか、様々な福祉ニーズに包括的に対応する重層的支援体制整備事業に取り組んでいます。

民生委員・児童委員の皆様による地域の支え合いや地域住民の福祉の向上のために活動は、今後、ますます重要なものとなってまいります。

より良い地域社会の実現にむけて、市民の皆様には、民生委員・児童委員活動にご理解賜りますとともに、民生委員・児童委員の皆様には、地域住民と関係機関の架け橋として、引き続きご協力をお願い申し上げます。

各地区の活動・行事を紹介します

あおぞら出前保育

陽光地区のあおぞら出前保育は城東保育園の保育士さんが貝塚公園で行っています。子育てに関する情報提供、相談も行っています。3～6月・10～12月の第2木曜日に開催で、雨の日はお休みです。

参加者の皆さんは、遊具を借りていろんな遊びができ、お話も聞けて楽しい時間を過ごしていただいています。



陽和幼稚園開放 『子育て広場』

夏まつりが7月6日に行われました。金魚すくい、打上げ花火のボール投げ、千本引き等で楽しんでいただきました。

「子育て広場」は自由遊び、パネルシアター、ミニ運動会など行われますのでお楽しみください。



子育て支援行事

子育てサークル陽光の皆さんと子育て支援行事を6月30日に総合福祉会館において開催しました。親子で工作をしたり、歌って踊ってお話を聞いて楽しい時間を過ごしていただきました。9月28日にはベビーヨガも開催しました。



陽光地区

精修地区

精修地区県外研修視察

7月12日、滋賀県の『彦根市子どもセンター』へ11名で行って参りました。

このセンターは、次世代育成支援の拠点施設として、子育て支援と青少年健全育成のために、アリーナや天体観測室、多目的室、授乳室等幅広い年齢の子ども達が安心して利用出来るようになっています。

平日には就学前の子どもと保護者の為の子育て広場が開設されて、親子でゆっくり過ごせるようになっていきます。何度も利用したくなるような、素晴らしいところでした。

七夕会

7月4日、精義まちづくり拠点施設において《あいうえお》の皆様の企画による『たなばたしましよ』の会が開催されました。就学前児童親子で七夕飾り作りや、絵本の読み聞かせ、わらべうた等を楽しみました。

当日は、欠席などで予定していたより少ない人数でしたが、それぞれに楽しんでいただきました。

また、12月にはクリスマス会も予定しております。



各地区の活動・行事を紹介します

地区児童の安心安全のために

城東小学校では、東野地区の通学路で危険な三差路が生まれ
ていました。

その三差路は、直線でないため死角があり、車からは児童を、
児童からは車を目視することが難しい状況でした。

そこで民生・児童委員が「このままだととても危険であり、
いつ大きな事故がおきてもおかしくない」と学校に伝え、学校
主導で「東野地区の通学路に関する会議」を開催しました。

そこには、自治会、内堀交番、城東地区交通安全協会、民生・
児童委員、子ども会、学校の代表が一同に集まり、情報共有と
今後の取り組みについて話し合いをしました。取り組みについ
ては、横断歩道やカーブミラーの設置、カラーペイント舗装等
の要望を当局にお願いしていくことが決まりました。

会議以降、民生・児童委員と学校の教員は毎朝、保護者は月
1回当該の三差路に立ち、児童の通学の安全を見守っています。
内堀交番も定期的にパトカーで巡回していただいております。以
前に比べて格段に児童の安全が高まったと思います。今後も地域
の安心安全のため尽力を続けていく所存です。



陽和地区

益世地区

音楽療法

益世地区では、月1回宅老所（旧幼稚園お遊戯室）にて、音楽
療法を行っています。

90歳代の方も、この日が来るのを待ちに待って、楽しみに元氣
よく参加されています。

童謡からよく知っている歌謡曲まで幅広く歌えるので、皆楽し
く歌ったり、笑ったりして1時間を有意義に過ごしています。



各地区の活動・行事を紹介します

小学生・園児との交流再開しました

一・大成小学校で読み聞かせ

コロナ禍で3年お休みしていましたが、令和4年11月から毎月1回開催しています。

今年は1年生から3年生まで8組を我々民生・児童委員と地域ボランティアの方々で対応しています。

絵本を見ながら読み手の声に、時には笑顔、時にはおどろきの声を発するなど集中して聞いてくれる姿に私達も喜びを隠せません。

本を選び事前練習等、子ども達の楽しむ姿を想像しながら準備し、当日は少々緊張しつつも大きな声で15分間頑張っています。

二・成徳南幼稚園児と高齢者との交流

6月29日、大成地区宅老所「門前の宿」に園児が訪れ、4年ぶりに交流が再開しました。

マジックショー、園児のお歌の発表、おじいちゃん・おばあちゃんとのふれあいゲームを行い、楽しい時間を過ごしました。

毎年6月と12月に交流会を開催していく予定です。



大成地区

成徳地区

わくわくっ子集まれ!!大和小学校放課後子ども教室

大和地区では、放課後の子ども達の居場所づくりとして「わくわく教室」を開催しています。その名の通り、子ども達がわくわくできる楽しい場が作れるような活動をしています。運営は民生・児童委員、地域のボランティア15人で行っています。共に子育てをしていこうということで、参加児童の保護者の方にも関わってもらっています。コンセプトは「地域で子育てを!」です。

毎週火曜日の午後2時から5時までで、今年は大和小児童53名が参加しています。下校後、旧大和幼稚園にやってきた子ども達は宿題をすませ、いろいろな活動を楽しみます。ゲーム大会、おやつ作り、おうちの人のプレゼント作りをしました。おやつ作りはクレープです。生地を自分で焼き、ホイップクリームやチョコレート、バナナなど好きなものをトッピングしていただきました。風船バレーや学童の子も参加する秋祭り、クリスマス会、理科教室など、季節に合わせたレクリエーションをしています。



各地区の活動・行事を紹介します

明正地区 桑部区域 活動紹介



宅老所「桑の実」

季節に合わせた小物作り。この日はトンボをつくりました。地域の方のハーモニカ演奏で歌うことも楽しい行事の一つです。

平成18年に自治会連合会、地区社協、民生・児童委員が中心となって宅老所「桑の実」を開設し、地域ボランティアと共に地域福祉の活動が大きく広がりました。

前後して子ども達の安全を見守る「地域パトロール」や子育てを支援する「子育てサロン」、「夏休み工作教室」なども始まりました。

昨今では、より身近な地域内での交流の場となる「通いの場」の開設、また、まちづくり協議会の呼びかけなどによるラジオ体操の会など、新しい地域活動も加わり、民生・児童委員の活動の場がさらに広がっています。



能部と東正和台 各自治会の通いの場



子育てサロンと夏休み工作教室

明正地区

正和地区

宅老所「げんき」

久米地区宅老所「げんき」は、毎週月曜日に高齢者の皆さんの「交流の場」として民生・児童委員が中心となってイベントを開催しており、毎週10数名の参加者があります。

7月3日は七夕に向け前週に出席者で製作した色とりどりの折紙や願い事を書いた短冊を笹に飾り、歌や体操、ゲーム等を楽しみました。最後は準備された冷やしソーメンを全員で味わいにぎやかな集いとなりました。

また8月21日は学童保育所との交流会を開催しました。子ども達からのダンスの披露に始まり、手作りプレゼントをもらったり、音楽療法士の指導のもとトーンチャイム等の楽器を手にみんなで合奏を楽しみました。子ども達の気づかいに触れ、エネルギーをもらい、高齢者の皆さんにとっても楽しんでもらえました。

これからもこのような行事は続けていきたいと思っています。学童保育所の皆さんご協力ありがとうございました。



各地区の活動・行事を紹介します

伊勢市防災センター見学

6月14日に定例会をかねて地区研修に伊勢市防災センターを訪れました。

最初に4階にある防災体験学習習室で、4種類ある体験ゾーンの中から、消火・避難・救出の3種類を体験しました。

その中で最も心に残ったのは、車での移動中に大雨に遭遇しアンダーパスに侵入してしまい動けなくなった車からの脱出が、いかに困難かという体験です。

次に1階にある防災倉庫を見学し、備品の中から特に便利な物の使い方を説明して頂きました。その後、併設している消防本部で現役の消防士の方から日々の訓練・最新の消防車の設備等についても話を聞きました。

今回の研修でいただいた防災マニュアルにある「自助・共助・公助」を常に考えておくことが災害対策の基本であり、「備えあれば憂いなし」の気持ちを持ち続けることが一番大切だと学びました。

家に帰ったら、今すぐできる家族の安否確認方法を共有してあげようと思いました。



大山田東地区

大山田西地区

シルバーサロン 『元気の宿』

シルバーサロン 『元気の宿』の取り組みを紹介します。ここでは主に広陵中学校区にお住いの高齢者の交流の場となっています。

週1回の開催で、お誕生日会や音楽会、絵本の読み聞かせ、お話し配便、音楽療法のほか、季節の取り組みとしてお花見やクリスマス会、広陵幼稚園児と昔の遊びを通じての交流、趣味で作った作品の展示、麻雀やカラオケなど、楽しい行事がいっぱいです。健康推進員の方に健康に役立つお話をしていたり、年末に増えるといわれている特殊詐欺への注意喚起もタイミングを見計らっていただいています。

『スクエアステップ』は四角いマスが横に4個、縦に10個並んだところを指導員の指示に従って歩くゲーム感覚のトレーニングで、太ももや股関節まわりを鍛え、転倒予防に役立つとともに、脳トレにもなるというものです。

高齢者が元気に楽しく過ごせるようにと、民生・児童委員や地域のボランティアの方がそれぞれの特技を生かして取り組んでいます。



各地区の活動・行事を紹介します

民生・児童委員の学校訪問

多度地区内の市立の小中学校と保育所に、4〜5名の民生・児童委員が訪問し、校長・教頭先生等と話しをする機会を持ちました。

委員からは、「子どもが大人にも、子ども同士でも挨拶をよくしている」「集団登校時に集団から遅れそうになりがちの子を上級生がお世話をしている」「公園で、学年をこえてみんなで遊ぶことが自然にできている」「学校の近くにある地域のコミュニティセンターで、1週間に1度放課後に勉強会やみんなで遊ぶ会があり、教員OBが中心となって運営している」等の話がありました。放課後、学校の図書室を借りて行っている地区もあります。学校からは、学校の雰囲気や穏やか、田植えや芋ほり等の行事にたくさん保護者が来て手伝ってもらえる等の話がありました。また、三世代同居の古くからの多度在住の家庭と新しい団地の家庭があり、保護者の多様化が進んでいるということでした。

その他、地域の自治会主催で児童が参加するフェスタを開催したり、学校ボランティアによる登校の見守りを通して学校と地域が一体となって、子どもが健やかに育つように頑張っています。



多度地区

長島地区

一人ぐらし高齢者生きがい広場

6月27日、4年ぶりに民生・児童委員全員で参加者74名のお弁当を手作りしました。

お弁当のレシピは高齢者部会で考え、参加者の皆さんに喜んでいただけるメニューを試行錯誤しながら決めました。

また、バラエティ歌謡ショーやアトラクションも楽しんでいただき、有意義な時間を過ごしてもらいました。最後に「来年も元気なお顔を見せてくださいね!!」とお見送りしてお別れしました。



各部会の活動を紹介します



高齢者福祉部会

委員全員を対象とする研修会の開催と、部会員による視察研修を主に活動しました。本年度は7月7日に障害者福祉部会との合同研修会として、桑名市福祉支援室と障がい福祉サービス事業所「いーばしょ」から講師を招き、二部構成で「ひきこもり」について講演を開催し、ひきこもり支援の事例と、ご経験に基づく知見をお話いただきました。

9月1日は視察研修として、愛知県長久手市にある多世代複合施設愛知たいようの杜「ゴジカラ村」を訪問しました。昔ながらの木のぬくもりと自然を感じることができる環境の中で、成果や結果を残す時間よりも、皆が家へ帰って暮らしを楽しむ夕方5時からの価値観を大切にす穏やかさと優しさに溢れた施設運営を学びました。



主任児童委員部会

7月13日、桑名市内の子育て応援施設やその関係機関7か所の視察研修を実施しました。

子ども子育て応援センター「ぼかぼか」「キラキラ」ではセンター長の梅本永見子先生から、子育て中の親子の身近な遊び場、交流の場、相談の場としてのセンターの説明をしていただきました。子どもの成長に合った、思わず手に取りたくくなるようなおもちゃがたくさんありました。ぜひご利用いただきたいと思いました。

また、桑名市教育支援センター「ふれあい教室」では担当の上田賢宏先生から、教室での1日の過ごし方や活動の様子についてお話を聞きました。学校に行きづらい子どもたちが安心できる場として、一人ひとりに寄り沿った温かい支援をされていると感じました。

市内には子育てを応援・支援する場が他にも多くあり、主任児童委員としてその一つ一つについて知ることが大切だと思いました。



児童福祉部会

年3回の部会のほかに、桑名市青少年補導委員としての「街頭補導」への参加も行っています。

今回は、青少年補導委員の活動について紹介いたします。

街頭補導については、桑名市生涯学習・スポーツ課職員、小・中・高の先生達と共におよそ1時間程度、桑名駅周辺や子ども達が集まる公園などの屋外、大型商業施設、ゲームセンター（ゲームコーナー）などの屋内を巡回しています。私たちが参加しているのは、「普通補導」で、15時30分から1時間程度、小・中・高等学校教員、PTA、青少年育成推進指導委員等各種機関・団体代表）とともに巡回します。

補導（声かけ）行為の主なものは、小学生だけでのゲームセンター・コーナーへの来店がないか、また、これまでの青少年の喫煙行為を見かけた場所を中心とした巡回です。

このように、私達の「街頭補導」の参加は、青少年の非行防止並びに環境浄化等について微力ながらも貢献できていると思われまます。引き続き、「街頭補導」について積極的に協力していきたいと考えています。

障害者福祉部会

コロナ禍により、3年ぶりに視察研修を6月21日に実施し、日中活動系の就労継続支援B型「わーくびれっじみのり」（三之丸）を午前中に、同じくB型の「夢工房」（東正和台）を午後視察しました。「みのり」では段ボール中仕切りの組み立てを通所者の能力に応じて作業に取り組んでおり、指導者の方も通所者に合った指導をされていたように見受けられました。

午後の「夢工房」では昼休み中で作業はされていませんでしたが、作業室へ通所者全員が集まり一人ひとり自己紹介を受けました。このようなことは初めての経験で施設長さん及び指導員の方の思いが伝わってきました。尚、作業としては菓子の製造、販売等を行っているとのことでした。

両施設で言える事は、指導員、通所者相互の人権意識と信頼関係が高く感じました。





救急医療情報キット



作成・更新していますか？

〈救急医療情報キット〉は、救急車を呼ぶなどの「もしも・・・」の時に備えて、あらかじめ自分に関する「救急医療情報など」を作り、冷蔵庫などに保管しておくものです。

まだ更新をされていない方



桑名市消防署
伊藤 政綱 (救急救命士)

「救急医療情報キット」の中の情報が古いままでは、スムーズな搬送につながりません。9月9日(救急の日)やご自身の誕生日など、年に一度は更新する機会をつくりましょう。

- 緊急時の情報連絡票
緊急連絡先やかかりつけ医、病歴などをご記入ください
- 保険証・診察券のコピー
- お薬手帳のコピー 等



まだ作成をされていない方

作り方の詳細リーフレットは、桑名市役所の介護高齢課や各地域包括支援センターなどでお渡しできます。作り方動画を参考に作っておきましょう。



詳しい作り方動画



お問い合わせ先

桑名市役所 介護高齢課 ☎ 24-1170
保健医療課 ☎ 24-0562



桑名市消防本部からのお知らせ

逃げ遅れ「0」！！

桑名市消防本部では、住宅火災の「逃げ遅れ ゼロ！！」に向けて、次の3本柱となる取り組み（3つの「える」）を行っています。ぜひ、お申し込みください。

住宅用火災警報器の取付け・点検支援（支える）



住宅用火災警報器の取付けをお手伝いし、すでに取り付けされている住宅用火災警報器の点検（無料）支援をさせていただきます。
※住宅用火災警報器は、ご自身でご用意ください。

住宅防火診断（備える）

ご自宅へ訪問し、台所や火気器具の使用状況などを確認して、火災予防のアドバイスをいたします。

住宅防火講習会（伝える）

地域の会合などの場に出張して、日頃から取り組むべき住宅防火のポイントをお話しします。



すべて消防職員が訪問し **無料** で行います。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 桑名市消防本部 予防課 ☎ 0594-24-5278

皆さんこんにちは。桑名市消防本部消防救急課です。日頃は救急隊の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

突然ですが、クイズです。桑名市内には救急車は何台あるでしょうか？ 1番、20台。2番、10台。3番、6台。正解は、3番の6台です。桑名市の救急隊は市民の皆さん約13万9千人の大切な命をこの6台で支えています。率直に言えば救急隊は日々目が回るような忙しさです（汗）

市民の皆さんへのお願いとなりますが、「倒れて意識がない！」「胸が締め付けられるように痛む！」「急にうまく話せなくなった！」「突然の激しい頭痛」など、命の危機が迫っている方の元へ救急隊がいち早く駆け付けられるように「今、本当に救急車が必要なのかな？」と今一度振り返ってみませんか？

困ったときには「くわな健康・医療相談ダイヤル24」という桑名市民の方々が無料でご利用いただける電話健康相談サービスや、お子様向けには「みえ子ども医療ダイヤル」という相談窓口があります。自分一人では抱えきれない事態が起こった時、誰かに話してみると気持ちが落ち着くこともあります。

季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期になりますが、救急車の適正利用にご協力をお願いいたします。

くわな健康・医療相談ダイヤル24

相談日時：24時間・年中無休
電話番号：0120-149-107

みえ子ども医療ダイヤル

相談日時：月曜日から土曜日まで 19時30分から翌朝8時まで
日曜日・祝日・年末年始（12月30日から1月3日まで）
8時から翌朝8時まで（24時間）
電話番号：#8000（繋がらない場合は059-232-9955）



桑名警察署からのお知らせ

今年に入ってから、桑名市内において、特殊詐欺被害が多発しております！

特に、架空料金請求詐欺が急激に増加しています。

令和5年8月末（桑名市内）

種別	件数	被害額		
		前年比	被害額	前年比
オレオレ詐欺	2件	(+ 1件)	280万円	(+ 190万円)
架空料金請求詐欺	7件	(+ 7件)	991万円	(+ 991万円)
還付金詐欺	2件	(+ 2件)	248万円	(+ 248万円)
預貯金詐欺	1件	(± 0件)	244万円	(+ 144万円)
キャッシュカード詐欺	0件	(- 1件)	0万円	(- 150万円)
合計	12件	(+ 9件)	1,763万円	(+ 1,423万円)

スマホ（メール・音声通話）・ネットを使っの架空料金請求詐欺に注意！！

スマホ（メール・音声通話）

「有料サイトの利用料金」や「国税庁からの未納通知」、「電話会社の未納料金」等、各種料金の未払い等に関するメールや自動音声通話により、架空の料金を請求します。

➡ 「支払わなければ、裁判になる。」、「電話の利用を止められる。」等と言って、不安感をあおります。

インターネットサイト

自宅のパソコン画面に「ウイルス感染」等が突然表示され、「サポートセンター」等を名乗り、架空のウイルス除去費用を請求します。

➡ 突然、パソコン上で警告画面表示や警告音を鳴らし、パソコンが操作できなくなるようにして、不安感をあおります。

この特殊詐欺の手口では、被害者にコンビニでプリペイド式の電子マネーカードを購入させ、裏面のID番号を教えるように指示してきます。

「コンビニで電子マネー（アップルギフトカードやグーグルプレイカード等）を買って！」

「カードの番号教えて！」は、詐欺です！



被害に遭わないために・・・

絶対に不審なサイトに入らない！電話しない！

このような請求があれば、**無視してすぐに警察に相談してください。**

(桑名警察署生活安全課電話：0594-24-0110)

好事例

今年、桑名市内の高齢者方の固定電話に架かってきた不審電話に、民生・児童委員の方が代わって対応をしていただき、特殊詐欺の被害を未然に防いいただきました。

特殊詐欺被害防止のため、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。